

## 地方創生推進交付金事業の実施状況及びKPIについて

## (1)世界に発信する「HANABI のまち大仙」活性化プロジェクト

地方創生推進交付金

## ①事業の概要

## ○事業目的

「花火のまち大仙」を国内外に向け発信し、インバウンド誘客、国内誘客の強化による観光消費と交流人口の拡大を図る。

## ○事業期間

令和2年度～令和4年度

## ○事業内容

- ・「あなただけの花火」打上を主体とする観光商品造成
- ・観光・花火イベント等の情報発信
- ・国内外の観光客に向けた統一ブランドコンセプトによる商品開発
- ・中国・台湾・タイ・韓国等への輸出を視野に入れた「大曲の花火」ブランド商品・観光の PR
- ・世界に発信する「HANABI のまち」を支える人材の確保・育成

## ②令和3年度事業

事業費 8,603千円(交付金 4,301千円)

## 「あなただけの花火」打上を主体とする観光商品造成

→「プライベート花火」や「模擬花火玉づくり体験」などのコロナ禍においても実施可能なコンテンツを活用した誘客を行うため、「プライベート花火」を活用した観光商品の造成に関するエージェント招請事業を行ったほか、新たな体験型コンテンツとして、「線香花火づくり体験」の実証事業を行った。

## 観光・花火イベント等の情報発信

→花火師が出演し、花火文化や各種花火イベントについてなどを紹介する特別番組を「FM はなび」にて放送したほか、AKT 秋田テレビと連携し、「大曲の花火」と市内の歴史・文化をテーマとする花火・観光情報番組を制作・放送した。

## 国内外の観光客に向けた統一ブランドコンセプトによる商品開発

→大仙市お土産商品ブランド「せんのぜん」の販売促進、商品改善等を担うブランド協議会を発足させ、その事務局として大仙市観光物産協会への業務委託を開始。また、市内温泉施設などへの販路拡大を行った。

### 中国・台湾・タイ・韓国等への輸出を視野に入れた「大曲の花火」ブランド商品・観光のPR

→新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外や首都圏との往来を前提とした事業は実施できなかった。

### 世界に発信する「HANABIのまち」を支える人材の確保・育成

→火薬類製造及び取扱保安責任者の資格取得を支援するため、「乙種製造」「丙種製造」「甲種取扱」「乙種取扱」といった各試験区分に対応した講座を開催している。令和3年度は、日本煙火協会所属の専門講師によるオンライン講座とし、受講者からは有意義な講座であったと好評価をいただいた。

## ③KPI(重要業績評価指標)の進捗状況

### KPI① 観光入込客数(千人)

→新型コロナウイルス感染拡大により、令和3年度においても全国花火競技大会をはじめとする四季の「大曲の花火」が延期・中止を余儀なくされたことなどから、基準値から大幅な減少が続いているが、令和2年度と比べると、行動制限の緩和やウィズコロナに対応した取組を進めたことでやや増加している。

### KPI② 観光入込客の増加による経済波及効果額(百万円)

→「観光入込客数」、「観光客の属性(県内・県外、宿泊・日帰り)別の消費単価」等の統計値により観光消費に関する需要額を推計し、秋田県産業連関表を用いた経済波及効果分析ツールにより経済波及効果を算出している。令和2年度に比べると、観光入込客数が微増したことにより、経済波及効果額についても増加しているが、基準値からは大幅減の状態が続いている。

### KPI③ 外国人宿泊者数(人)

→新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全国的に訪日外国人観光客が減少する中、本市においても外国人宿泊者数の減少が続いており、若干の改善が見られるものの、令和3年度においては、基準値と比べて約92%の大幅減となっている。

### KPI④ 大仙市観光物産協会のお土産品売上額(千円)

→新型コロナウイルス感染拡大の影響による観光入込客数の減少に伴い、JR大曲駅に隣接している観光情報センター等での売上額は大幅減の状態が続いている。

KPI(重要業績評価指標)			基準値	R2	R3	R4	増加分の累計
観光入込客数(千人)	実数	目標	2,631	2,685	2,739	2,793	—
		実績	2,521	1,124	1,180		—
	増加分	目標	2,631	54	54	54	162
		実績	2,521	△1,397	56		
観光入込客の増加による 経済波及効果額(百万円)	実数	目標	17,400	17,780	18,160	18,540	—
		実績	17,060	8,372	9,084		—
	増加分	目標	17,400	380	380	380	1,140
		実績	17,060	△8,688	712		
外国人宿泊者数(人)	実数	目標	1,996	2,946	3,896	4,856	—
		実績	3,074	123	250		—
	増加分	目標	1,996	950	950	960	2,860
		実績	3,074	△2,951	127		
大仙市観光物産協会のお 土産売上額(千円)	実数	目標	30,500	30,900	31,300	31,700	—
		実績	36,713	24,931	22,724		—
	増加分	目標	30,500	400	400	400	1,200
		実績	36,713	△11,782	△2,207		

秋田県、美郷町との広域連携事業

**①事業の概要****○事業目的**

自然公園を様々なアウトドア・アクティビティが展開できるエリアとしてアピールし、民間企業とも連携しながら活用していくことにより、国内各地や海外から、通年あるいは定期的に来訪者を獲得し、この自然公園の魅力や知名度を高め、地域の賑わいの創出や地域経済の活性化などに繋げていくことを目指していく。

**○事業期間**

令和2年度～令和4年度

**○取組内容**

- 【大仙市】
  - ・ 親子トレッキング&山登り教室の開催(令和2～4年度)
  - ・ テーマ別ガイドマップ作成(令和2年度)
- 【秋田県】
  - ・ PR動画制作(令和2～3年度)
  - ・ 登山案内マップの作成(令和2年度)
  - ・ 登山ルート情報の発信(令和2年度)
  - ・ 真木真昼アウトドア・フェスティバルの開催(令和3～4年度)
  - ・ 真木真昼アウトドア・フェスティバル in ウィンターの開催(令和3年度)
  - ・ 老朽化施設の改築(令和3年度)
  - ・ 首都圏在住ガイド等向けモニターツアーの実施(令和4年度)
  - ・ 「あきた真木真昼トレイルラン2022」の開催支援(令和4年度)
- 【美郷町】
  - ・ 案内人・インストラクターの養成(令和2～4年度)
  - ・ 民泊に関するセミナーの開催(令和2～4年度)
  - ・ 案内誘導標識等の整備(令和2～3年度)
  - ・ デジタルサイネージによる情報発信(令和2年度)
  - ・ 大型案内看板の整備(令和3年度)
  - ・ 観光情報データベースの構築・運営(令和3年度)

## ②令和3年度事業

事業費 32,946千円(交付金 16,473千円)

(うち、大仙市事業費 980千円 (交付金 490千円))

### [大仙市]

#### 親子トレッキング&山登り教室の開催

→大仙市や美郷町のほかエリア外の小学生以上の若年層も対象に、将来、案内人等を志すきっかけとなるよう、山登りやトレッキングなどに関する学習教室等を開催した。

#### 【親子トレッキング教室】

- ① 川口溪谷紅葉親子トレッキング教室  
開催日:令和3年10月30日(土) 参加者:11名
- ② 真木溪谷紅葉親子トレッキング教室  
開催日:令和3年11月3日(土) 参加者:19名
- ③ 真木真昼県立自然公園ウインター親子トレッキング教室  
開催日:令和4年3月12日(日) 参加者:16名

#### 【山登り教室】

令和3年度前期分(令和2年度からの継続開催)は座学を1回、実習を4回実施した。

実施回	実施日	内容	参加者数
第7回	令和3年4月18日(日)	登山計画書の作りかた	18名
第8回	5月16日(日)	真昼岳登山	17名
第9回	6月13日(日)	薬師～甲～風鞍縦走	19名
第10回	7月11日(日)	薬師岳登山	17名
第11回	8月1日(日)	真昼岳登山(縦走)	11名

令和3年度後期分は座学を6回実施した。

実施回	実施日	内容	参加者数
第1回	令和3年11月7日(日)	登山をはじめるまえに	26名
第2回	11月21日(日)	登山の基礎知識	24名
第3回	12月19日(日)	地形図の読み方①	24名
第4回	令和4年1月16日(日)	地形図の読み方②	21名
第5回	2月20日(日)	気象と天気図	19名
第6回	3月13日(日)	安全対策と救急法	23名

## [秋田県]

### PR動画制作

→真木真昼の登山ルートや見どころ、アウトドア・アクティビティ、大仙市、美郷町の観光スポットを紹介するコンテンツムービー6本、ドキュメンタリー仕立ての動画5本を制作した。

秋田県公式 YouTube チャンネル「WebTV あきた」、道の駅美郷のデジタルサイネージ等を通じて発信する。

「WebTV あきた」URL <https://www.youtube.com/c/prefakita-webtv/>

### 真木真昼アウトドア・フェスティバルの開催

→真木真昼エリアの新たな魅力であるアウトドア・アクティビティを発信するため、5プログラム(真昼山登山・巨樹探訪・沢歩き・ノルディックウォーキング・星空ガイドトーク)を分散して体験できるイベントを開催した。

なお、メイン会場プログラムについては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。(延べ参加者数:139名)

### 真木真昼アウトドア・フェスティバル in ウィンターの開催

→積雪期ならではのアクティビティを発信するため、スノーシューを体験できるイベントを開催した。(延べ参加者数:40名)

### 老朽化施設の改築

→設置後50年近く経過し老朽化が著しい袖川園地公衆トイレを改修した。

## [美郷町]

### 案内人・インストラクターの養成

→令和2年度に策定した美郷町認定の「美郷町ネイチャーガイド」制度に基づき、自然公園や町内フィールドに特化した案内人・インストラクターを養成するための講習会及び小テストを実施し、33名の美郷町ネイチャーガイドを育成した。

① 講習会の実施:全11回

② 39名からの講習会申し込み受領、33名の美郷町ネイチャーガイド認定

湧水ガイド:17名 (フィールド:六道湧水群と寺町通り)

登山ガイド:16名 (フィールド:真昼山等)

森林ガイド:11名 (フィールド:七滝山)

星空ガイド:9名 (フィールド:町民の森等)

### 民泊に関するセミナーの開催

→民泊に関するセミナー(内容説明と事例紹介等)として「まちやど」をテーマに実施した。

### **案内誘導標識等の整備**

→自然公園に隣接する山岳エリアの登山ルートの要所に案内誘導標識を設置した。

また、登山ルートの急傾斜地に安全で歩きやすくするためのロープを整備したほか、入山者が提出する届出書の投函ポストを設置した。

- ① 女神山登山道への案内誘導標識:13箇所
- ② 真昼山善知鳥登山道の急傾斜地へのロープ整備:156m
- ③ 登山道ポスト設置:6箇所

### **大型案内看板の整備**

→自然公園に隣接する七滝山・女神山エリアの登山口3箇所に大型案内看板を設置した。

- ① 七滝山登山口
- ② 女神山六郷ダム側(後ろのツルルート)登山口
- ③ 女神山黒森峠側(土手森ルート)登山口

### **観光情報データベースの構築・運営**

→真木真昼エリアの観光関係事業者が情報共有と情報発信をタイムリーに行うための情報データベースを構築した。

- ① ソフトウェアの導入(カスタマイズ含む)
- ② 導入教育業務、観光情報等の収集及び入力作業業務

## **③KPI(重要業績評価指標)の進捗状況**

### **KPI① 薬師連山・真木溪谷・川口溪谷への入り込み(入山)者数(人)**

→新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、トレイルランニング大会の中止や県外との往来の自粛が要請されたことなどにより大きく減少した。

### **KPI② 真木真昼県立自然公園エリアへの観光入り込み客数(県観光統計)(人)**

→新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、トレイルランニング大会の中止や県外との往来の自粛が要請されたことなどにより大きく減少した。

### **KPI③ 真木真昼県立自然公園の案内人等への新たな従事者(人)**

→「美郷町ネイチャーガイド」制度に基づき、33名の美郷町ネイチャーガイドを認定している(33名のうち3名が元々の従事者)。また、美郷町ネイチャーガイド認定外の従事者が1名増加していることから、合計で31名が新たな従事者となっている。

KPI(重要業績評価指標)			基準値	R2	R3	R4	増加分の累計
薬師連山・真木溪谷・川口溪谷への入り込み(入山)者数(人)	実数	目標	12,198	14,198	18,198	24,198	—
		実績		9,898	9,556		—
	増加分	目標	12,198	2,000	4,000	6,000	12,000
		実績		△2,300	△342		
真木真昼県立自然公園エリアへの観光入り込み客数(県観光統計)(人)	実数	目標	20,771	24,171	30,971	41,171	—
		実績		13,898	8,863		—
	増加分	目標	20,771	3,400	6,800	10,200	10,127
		実績		△6,873	△5,035		
真木真昼県立自然公園の案内人等への新たな従事者(人)	実数	目標	6	9	13	18	—
		実績		6	37		—
	増加分	目標	6	3	4	5	12
		実績		0	31		



### (3)大仙市健幸まちづくりプロジェクト

歩いてはかって地域が元気に！健“幸”が導く明日の大仙

地方創生推進交付金

#### ①事業の概要

##### ○事業目的

タニタグループ3社と連携し、「日本一健幸なまち」を目指して、全市民等を対象とした全国初の官民連携による大規模ヘルスケア事業を実施。「歩くこと」をまちの中心に据え、同グループから無償で提供いただいた活動量計などの機器を活用し、無理なく楽しみながら健康づくりに取り組める環境を創出することで、健康寿命の延伸やまちの活力向上につなげていく。また、将来的には、大規模な母集団から形成されるビッグデータを活用し、ヘルスケア産業を意識したニーズやシーズが発信できる事業環境も目指していく。

##### ○事業期間

令和3年度～令和5年度

##### ○取組内容

- ・ウォーキングイベントの開催
- ・健幸運動講座の開催
- ・ウォーキングマップの作成
- ・健幸食事業の実施
- ・健幸まちづくりプロジェクト属性に応じた PR 事業の実施

#### ②令和3年度事業

事業費 698千円(交付金 349千円)

##### 健幸ウォーキングイベント

→健幸まちづくりプロジェクト参加者を対象として、「大曲の花火」公園を会場に「健幸モーニングウォーク」を開催し、300人が参加した。

##### 健幸運動教室

→新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施を見送った。

##### タニタ健幸ランチプロジェクト

→新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施を見送った。

##### イベント用ルーターの貸出

→新型コロナウイルス感染拡大の影響により、連携する各種イベントが開催されなかったことから、実施を見送った。

### 健幸まちづくりプロジェクト参加者情報分析業務

→健康状態の見える化により、さらなる健康活動を促すため、参加者の健康データに関する分析業務を行う予定としていたが、健康データを所有するタニタグループとの調整に時間を要したことから実施に至らなかった。

## ③KPI(重要業績評価指標)の進捗状況

### KPI① 健幸まちづくりプロジェクト登録者数(人)

→令和4年3月31日現在の参加者数は21,683人。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、外出の機会が少なくなったこともあり、健康活動への関心は高まっているものと推察されるが、実際の登録者数の増加には結びつかなかった。

### KPI② 20～64歳の年代別・男女別の歩数の平均値(歩/日)

→令和3年度の一日常歩数は下表のとおりとなっている。年代別で見ると65歳以上がやや多くなっており、これは定年等により仕事から離れ、余暇の時間が増えたことにより、健康増進や趣味としてウォーキングに取り組んでいる人が多くいるものと考えられる。また、性別で見ると女性より男性が1,000歩以上多くなっており、これは家事や育児などの分担割合が依然として男性より女性が大きいことから、自宅にいる時間が長くなり、歩行数が少なくなっているものと考えられる。

年代	全体	性別	
		男性	女性
20歳以上	5,692歩	6,425歩	5,123歩
20歳～64歳	5,625歩	6,285歩	5,138歩
65歳以上	5,828歩	6,688歩	5,088歩

### KPI③ 健幸まちづくり各種イベント参加者数(のべ人数)(人)

→令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、参加型イベントのほとんどを中止または延期としたが、比較的感染リスクの低い屋外におけるウォーキングイベントを1回実施し、300人が参加した。

### KPI④ 大仙市健幸経営優良事業所(仮称)認定事業所 認定件数(件)

→制度化にあたっては、他部署との連携が必要であり、現在、制度内容等について検討を進めているところであるが、未だ制度化には至っていない。

引き続き、国や県、他自治体の類似制度を参考にしながら制度化を進め、制度をきっかけとした事業所からの参加を促進させていく。

KPI(重要業績評価指標)			基準値	R3	R4	R5	増加分の累計
健幸まちづくりプロジェクト登録者数(人)	実数	目標	8,530	33,530	59,530	75,530	—
		実績		21,683			—
	増加分	目標	8,530	25,000	26,000	16,000	67,000
		実績		13,153			
20～64歳の年代別・男女別の歩数の平均値(歩/日)	実数	目標	5,500	6,000	7,000	7,500	—
		実績		5,692			—
	増加分	目標	5,500	500	1,000	500	2,000
		実績		192			
健幸まちづくり各種イベント参加者数(のべ人数)(人)	実数	目標	0	1,000	3,000	5,500	—
		実績		300			—
	増加分	目標	0	1,000	2,000	2,500	5,500
		実績		300			
大仙市健幸経営優良事業所(仮称)認定事業所認定件数(件)	実数	目標	0	3	8	18	—
		実績		0			—
	増加分	目標	0	3	5	10	18
		実績		0			

## (4)秋田版スマート農業モデル創出事業 **地方創生推進交付金**

秋田県(秋田県立大学)との広域連携事業

※令和3年度、大仙市の事業はありません

### ①事業の概要

#### ○事業目的

従事者の高齢化や担い手不足、生産性の低さなど、本県農業が抱える課題の解決に向けて設定した7つの研究テーマについて、産学官が一体となって実証を行い、生産現場への導入と普及を進めることで「儲かる農業」を目指していく。

#### ○事業期間

令和3年度～令和7年度

#### ○取組内容

##### 【Ⅰ】5Gリモート農業

⇒ほ場管理作業の効率化、省力化に向けた在宅による遠隔草刈作業システムや遠隔モニタリングシステムの開発

##### 【Ⅱ】アグリデジタルツイン

⇒仮想空間上に農場を再現し、遠隔操作技術習得シミュレーターや農作業技術シミュレーター、設計試作、AI学習シミュレーター、営農シミュレーター等の機能を搭載したリモート農業の核となる技術の開発

##### 【Ⅲ】超省カスマート農業 **※大仙市 R4～7年度 実施**

⇒秋田県内の企業が製造する自立型ドローン等を活用した新しい播種様式による超省力化・低コスト生産技術の確立と、当該播種様式による新たな水稻直播栽培マニュアルの整備等に向けた実証

##### 【Ⅳ】ICT肉牛放牧による飼養管理

⇒効率的な飼養管理技術の確立に向けた牛体型の3D画像解析技術を活用した健康管理システムや、各種センシングデータを活用した放牧牛群管理システムの開発

##### 【Ⅴ】果菜類収穫ロボットの開発

⇒大玉トマトを自動収穫するロボットの開発及び収穫作業の自動化による効果を最大化する環境整備の研究

##### 【Ⅵ】秋田周年化モデル **※大仙市 R5～7年度 実施**

⇒地下水熱等の再生可能エネルギーを利用した環境制御技術による園芸作物の周年化生産モデルの確立や、市の新規就農者研修施設を活用した遠隔作業指導支援の実施に向けた視野・視点相互共有システムの開発

##### 【Ⅶ】秋田版農業情報基盤の構築

⇒複数集落の連携により従来の集落と同等の機能を維持するコミュニティ型農業を目指し、中山間地域に分散する小規模農家間をつなぐネットワーク基盤を構築

## ②令和3年度事業

事業費 465,348千円(交付金 232,674千円)

(うち、大仙市事業費 0千円 (交付金 0千円))

### アドバイザーボード開催等

→農林水産省職員・専門家等で構成する外部有識者から、推進事業体等の事業計画・進捗に対し、評価・助言をいただいた。

### 広報・PR

→秋田版スマート農業の普及促進に向け、取組事例等について県広報紙に特集記事を掲載し周知した。(全戸配布)

### 秋田版スマート農業モデル創出事業費補助金

→秋田県立大学が代表研究機関として実施する取組に対して補助。(補助率10/10以内)

### [ソフト事業]

#### ○各研究(7テーマ)の取組

##### 【Ⅰ】5Gリモート農業

ローカル5G通信性能評価と遠隔操作可能な草刈機(リモート草刈機)の試作

##### 【Ⅱ】アグリデジタルツイン

3次元モデルによる仮想果樹園・草刈機や仮想空間内での草刈機操作習熟システムの開発

##### 【Ⅲ】超省カスマート農業

導入するスマート農機の操作研修の実施、ドローンによる水稻直播一貫体系におけるセンター内でのデータ収集

##### 【Ⅳ】ICT肉牛放牧による飼養管理

3D画像解析による健康管理システム、センシングデータによる放牧牛群管理システムの検討

##### 【Ⅴ】果菜類収穫ロボットの開発

大玉トマト自動収穫ロボットの1号機設計試作

##### 【Ⅵ】秋田周年化モデル

ICT活用によるスマート化技術(気象条件に合わせてフルオープンできる天窓、サイド巻き上げビニールの開閉)の試作

遠隔作業指導支援システムの基本設計

##### 【Ⅶ】秋田版農業情報基盤の構築

熟練技術継承のための農作業ナレッジの基本設計

農産物物流システム及びコミュニティ間情報共有・相互支援システムの検討

#### ○コンソーシアムの設置・運営

キックオフフォーラム及び設立総会を開催した

### ○実践的スマート農業教育

- ・全学部共通カリキュラム「スマート農業入門」(外部講師等を招へいし、講義等を実施)
- ・「スマート農業指導士(仮称)」育成事業の実施に向けて、文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」への応募と受講者の公募を開始した

### ○スマート農業普及に向けた農場体験・展示・出前講座

展示実演項目や方法を検討した

## [ハード事業]

### ○秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センターにおける整備・購入

- ・研究・管理棟の地質調査、実施設計
- ・各研究(7テーマ)に要する研究機器等の購入  
直播用ドローン、動物用超音波診断装置、大玉トマト自動収穫ロボット等対応ハウス、環境制御付きビニルハウス、各研究(7テーマ)共通で要する大容量・リアルタイム画像データ等収集用ほ場敷地内ネットワーク整備 など

### ○秋田県農業試験場における整備・購入

- ・各研究(7テーマ)に要する研究機器等の購入  
大玉トマト誘引方法試験用ビニルハウス、ハウス環境計測機など

## ③KPI(重要業績評価指標)の進捗状況

### KPI①

#### 米の10aあたりの労働時間削減率(%)

→作業項目別で見ると、育苗・管理、刈取・脱穀、乾燥について前年度より作業時間がかかり増しとなっている。これは、例年より日照時間が長かったことから、5月上旬までのハウスの開閉作業に時間を要したことと、当該年度の10a当たり収量が600kgと前年度に比べて40kg増加し、刈取・脱穀、乾燥に時間を要したことが要因である。未達成の要因は気象条件に起因するものであったが、追肥、除草、防除は前年度作業時間を下回り省力化が図られている。今後、総合的な取組の中で目標が達成できるよう事業を進めていく。

年度	労働時間(時間/10a)	
	目標	実績
令和2年度	—	21.07
令和3年度	20.55	21.44

※削減率:  $(21.44 - 21.07) / 21.07 \times 100 = 1.76\%$ (増加)

**KPI②**

**スマート農業指導士の活動によりスマート農業を体験・実践した農家の件数(件)**

→「スマート農業指導士(仮称)」育成事業の実施に向けて、文部科学省「職業実践力育成プログラム」に応募し、受講者の公募を開始した。

KPI(重要業績評価指標)		基準値	R3	R4	R5	
米の 10a あたりの労働時間削減率(%)	実数	目標	0	2.48	5.3	8.78
		実績		△1.76		
	増加分	目標	0	2.48	2.82	3.48
		実績		△1.76		
スマート農業指導士の活動によりスマート農業を体験・実践した農家の件数(件)	実数	目標	0	0	0	30
		実績		0		
	増加分	目標	0	0	0	30
		実績		0		

KPI(重要業績評価指標)		R6	R7	増加分の累計	
米の 10a あたりの労働時間削減率(%)	実数	目標	12.25	15.72	—
		実績			—
	増加分	目標	3.47	3.47	15.72
		実績			
スマート農業指導士の活動によりスマート農業を体験・実践した農家の件数(件)	実数	目標	110	240	—
		実績			—
	増加分	目標	80	130	240
		実績			